



ビニールハウスを解体する
参加者＝高山市塩屋町

3月の雪、高山のビニールハウス260棟倒壊

J Aひだ有志ら撤去

被害の農家、支援に感謝

3月下旬に降った雪の影響で、高山市の75戸ほどの農家のビニールハウス約260棟が倒壊するなど被害が出た。有志が集まったJAひだの職員らは、ハウスの解体や撤去といったボランティア活動を行った。

岐阜地方気象台によると、市中心部では3月下旬に3時間、12時間、72時間の降雪量で同月の観測史上最大を記録。市やJAひだによると、3月のまとまった雪は近年では珍しく、旧高山市や丹生川町を中心に、ホウレンソウやトマト農家のハウスが全壊するな

どの被害が出たという。

JAひだやJA全農岐阜、県の職員約60人が4月中旬から計4日間、市内9カ所で壊れたハウスの撤去作業などを行った。塩屋町のハウスでは計6人が作業を手伝い、曲がった骨組みを抜いたり、ビニールを取り外したりした。農家の男性は「1人では1日以上かかる作業。とても助かった」と感謝した。(玉田健太)